ごみ減量に向けた　住民･事業者･行政　役割相関図

【別紙3】

事業者

- ごみ問題に対する正しい認識の普及
- 自ら製造・販売した商品の回収ルートの構築
  - 資源ごみの店舗回収
  - ごみの減量・資源回収の取り組み
    - ごみ量を調査
    - 減量化計画を策定（多量排出事業者）
- 流通・販売ルートにおいて各段階でのごみ減量
- 簡易包装

住民

- ごみ問題に対する正しい認識の普及
- 資源ごみとして再資源化できるごみはできる限り資源ごみとして回収に出す
- 物を大切にし、長く使用
- 過剰に買い物はしない
- ごみ減量に向けた実践できる基盤
- 生ごみは、よく水を切って排出
- 生ごみ処理機　コンポストを利用

行政

- 住民・事業者へごみの減量化資源化についての啓発・指導
  - 広報・ホームページ・　LINE等や環境教育を実施
  - 環境・ごみに関する情報を発信
  - 分別の必要性等について説明会等広報活動を積極的
  - 小学生対象カーボンニュートラル出前授業を実施
    ごみ捨てや節電等身近なカーボンニュートラルの取り組みを紹介
  - 三者の中心で啓発活動や意見の交換等に努力
  - 食品ロスや脱炭素（ごみ減量）の簡単なクイズを出題
- 効率的な資源回収の仕組みの構築
  - エコバッグを持参レジ袋は断る
  - エコフェスタ等のイベントの開催
  - 生ごみの水切りの推進
  - 生ごみ処理機及びコンポスト等の普及に努める
  - 賞味期限は切れていない食品をイベントに持ってきてもらう

廃棄物の排出者として、三者（住民・事業者・行政）協働で、ごみ減量・分別を徹底し、資源化に寄与

三者によるごみ減量で達成されるSDGsの目標（ゴール）

SDGs１７の目標（ゴール）